

令和５年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

１ 調査日時

令和５年４月１８日（火）

２ 調査対象（受験者数）

市立小学校 第６学年（1328名）
市立中学校 第３学年（1125名）

３ 調査内容

（１）教科に関する調査

＜小学校＞ ＜中学校＞

◇国語 ◇国語
◇算数 ◇数学
◇英語

（２）生活習慣や学習環境に関する調査

◇児童・生徒質問紙調査

[学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等]

◇学校質問紙調査

[指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等]

４ 教科に関する調査結果

（１）各教科別の平均正答率（％）

① 小学校

	立川市	全国	東京都
国語	65	67.2	69
算数	64	62.5	67

② 中学校

	立川市	全国	東京都
国語	71	69.8	72
数学	54	51.0	54
英語	50	45.6	52

※細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものでないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。（文部科学省方針）

（３）平均正答率の結果について

＜各教科別の平均正答率から＞

○小学校の国語では、全国の平均正答率下回っており、算数では全国の平均正答率を上回っている。

○中学校では、国語・数学・英語において全国の平均正答率を上回っている。

＜学習指導要領の内容別の平均正答率から＞ ※全国の平均正答率との比較から

○小学校の国語では、「話すこと・聞くこと」が7.0ポイント下回っており、大きな課題となっている。

○中学校の国語では、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」は全国の平均正答率より1.5ポイント下回っているが、他の項目ではすべて上回っている。

（２）学習指導要領の内容別の平均正答率（％）

※「国語」は全国の前年度を上回っている数値である。

① 小学校

	国語		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	69.8	71.2	73.6
(2) 情報の扱い方に 関する事項	63.3	63.4	66.5
(3) 我が国の言語文化 に関する事項			
A 話すこと・聞くこと	65.6	72.6	73.5
B 書くこと	27.5	26.7	28.9
C 読むこと	69.4	71.2	73.2
	算数		
	立川市	全国	東京都
A 数と計算	67.7	67.3	71.0
B 図形	50.5	48.2	54.8
C 測定			
C 変化と関係	72.5	70.9	75.8
D データの活用	65.5	65.5	67.3

② 中学校

	国語		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	67.6	67.5	69.6
(2) 情報の扱い方に 関する事項	64.2	63.4	66.2
(3) 我が国の言語文化 に関する事項	73.2	74.7	73.1
A 話すこと・聞くこと	82.9	82.2	84.4
B 書くこと	64.6	63.2	66.8
C 読むこと	66.7	63.7	67.2
	数学		
	立川市	全国	東京都
A 数と式	65.1	63.0	66.0
B 図形	37.9	33.2	39.2
C 関数	52.6	51.2	54.3
D データの活用	52.2	48.5	50.4
	英語		
	立川市	全国	東京都
(1) 聞くこと	64.0	58.4	64.7
(2) 読むこと	55.4	51.2	57.2
(3) 話すこと [やり取り]			
(4) 話すこと [発表]			
(5) 書くこと	25.0	23.4	29.6

５ 生活習慣や学習環境に関する調査

（１）児童・生徒質問紙調査について

※質問事項は、立川市教育委員会指導課が抽出したものである。

※数値は、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」など肯定的な回答の割合である。

上段：小学校第６学年（％）
下段：中学校第３学年（％）

＜自分自身に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	立川市 (R4)
①自分には、よいところがあると思いますか。	83.6 77.1	83.5 80.0	83.6 80.1	79.5 73.4
②将来の夢や目標をもっていますか。	78.9 61.8	81.5 66.3	79.6 64.3	77.4 61.4

＜学習に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	R4
③５年生（２年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	76.8 77.9	78.8 79.2	78.3 79.4	75.6 76.4
④学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	78.8 77.6	81.8 79.7	81.5 80.1	79.4 74.1
⑤学習の中でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか。	93.7 88.7	95.1 93.3	93.9 91.9	93.5 90.3

（２）学校質問紙調査について

※数値は、「よく行った」など最もよい肯定的な回答の割合である。

＜学校における指導に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	立川市 (R4)
⑥調査対象学年の児童[生徒]に対して、前年度までに、学校生活の中で児童[生徒]一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか。	52.6 33.3	60.8 54.8	58.3 49.9	42.1 22.2
⑦調査対象学年の児童[生徒]は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	47.4 55.6	38.1 55.7	30.9 55.0	31.6 77.8
⑧児童[生徒]の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	36.8 44.4	39.2 35.4	42.3 35.7	21.1 22.2

（３）児童・生徒質問紙調査及び学校質問紙調査からの考察

○①、②、⑥については、児童・生徒の自己肯定感をより一層高めるために、児童・生徒が互いのよさや可能性を発揮し、よりよく成長し合えるような集団活動を、特別活動をはじめとした様々な教育活動の中で推進するとともに、児童・生徒のよさを継続的に認めて声をかけることが大切である。

○③、④については、児童・生徒が自ら課題をもち、解決する力を育むために、学習のねらいを明確にしたり、自ら考え、試行錯誤する時間や他者と意見交換する活動を意図的に設定したりする必要がある。

○⑤については、学習者用端末を含め学習ツールを自ら選択しながら、自身の学びを広げたり、確かなものにしたりすることができるよう、引き続き発達段階に応じた情報活用能力を計画的に育成する必要がある。

○⑦、⑧については、児童・生徒の実態に合わせ授業改善を行うことにより学習への意欲が向上していると考えられる。また、授業改善のための一連のPDCAサイクルを繰り返すことで各校の授業力の向上が見込まれる。